

2021年3月7日第1主日

Chofu Christ Church

礼拝式次第

注) 賛美の最後の頌栄以外のアーメンは省く

前奏		
頌栄	新聖歌 60	起立
使徒信条	司会者朗読	起立
主の祈り	司会者朗読	起立
開会祈禱		
賛美	新聖歌 105	
交読	省略	
今月の賛美	省略	
今週の聖句	省略	
3月誕生者祝福		
聖書	Iサムエル7:5-12(p390)	
説教	「魂の故郷に帰ろう」	
	園 謙慈 牧師	
一斉祈禱		
献金	新聖歌 171	
感謝祈禱		
頌栄	新聖歌 63	起立
祝禱		起立
後奏		起立

報告

●来週のメッセージ

【聖書】 Iサムエル8:10-18(p392)

【主題】 「ヒーローは必要か？」

【説教】 園 謙慈 牧師

【新聖歌】 111 342

今週の聖句

《一心に主に立ち返れ》

「もし、あなたがたが一心に主に立ち返るのであれば、ほかの神々とアシタロテを、あなたがたのうちから捨て去り、心を主に向け、主のみ仕えなければならぬ。そうすれば、主はあなたがたをペリシテ人の手から救い出されるであろう。」

Iサムエル7章3節

●本日の礼拝後の予定

○

●今週の予定

◎聖書通読 8日(月)ー14日(日)
土師記17-ルツ記2章

※飯淵姉の施設訪問 10日(水)11:00

○祈禱会 11日(木) 休会

●3/14日(日)の予定

○主日祈禱 — 賛美タイム —

○主日礼拝式(自主礼拝) 11:00
[録音のための]

礼拝式説教要約 【問題解決先延ばしせず】 サムエル記上6:1~16

何か原因不明の痛みがあった時、すぐ医者に行くだろうか、それとも耐えられないほど辛くなるまで放置しておくだろうか。ペリシテ人は後者だった。ペリシテ人は七か月間様子を見ていた。問題解決は先延ばしになっていた。

神の箱は七か月の間ペリシテ人の地にあった。神の御手による病はペリシテ人の地域から去らなかった。神の箱をたらい回し、野に放置すれば問題は去って行くと思ったが、そうはいかなかった。そこで、ペリシテの領主たちは、やっと重い腰を挙げ、祭司や占い師を呼び助言を求めた。ペリシテの偶像神の祭司や占い師たちは、ペリシテ人領主たちの戦勝者のおごりを戒めた。私たちが変化を喜ばない。同じ事を繰り返している中で、何となく問題が解決することを望む。でも、問題は悪化するばかり。いつもの変化なき周回軌道から脱出し、飛び出す勇氣を持とう。それが、生きた信仰である。

3節には「償い」という言葉が発せられた。真の神を知らないペリシテの祭司や占い師ですら、道理をわきまえていた。イスラエルから神の箱を奪ったのだから、第一に神の箱を返還し、第二に償いをせよと助言した。レビ記に規定された「罪過のためのいけにえ」は、これと同じ発想に基づいたささげもの。人の物を奪ったり、壊したりした時は、現状回復

を行い、5分の1を損賠賠償として償い、神にいけにえをささげるのである。

私たちの場合…心を込めた謝罪の言葉、現状回復、誠意ある金銭や物品による償いをしよう。失敗で終わらせず、神に栄光を帰す機会にもできる(5節)。

ペリシテの祭司たちは、牛に引かせた車に神の箱を乗せイスラエルに返還するよう助言した。雌牛2頭はベテシメシに到着し、ペリシテの領主は一部始終を見届けた。ベテシメシはレビ人の町なので人々は神の御名を崇め、牛を生贄にして捧げた。異教の世界でも、神はご自分の方法で栄光を現された。◎私たちが常識的、人間的な安定軌道から脱出する時が来ているのではないか。もし神から示されるならば、具体的な謝罪とつぐないを、心を込めてその相手にしようではないか。